

令和3年度 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	第3学年	学 科 類	普通科理系
単位数	4単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門） 八訂版スクエア最新図説生物neo（第一学習社），実践アクセス総合生物（浜島書店）						

学習目標	<p>生物基礎の内容を踏まえて，生物についての理解を深めていきます。物質と代謝や遺伝現象との関わりについて学び，そこから生殖と発生，環境への応答につなげます。さらには生物の進化と系統や生態系にも目を向け，生物の分類や生物どうしのつながりについても広く学習します。</p> <p>生物や生物現象に対する探究心を高め，観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに，生物学の基本的な内容の理解を深め，生物に対する科学的な見方や考え方を高いレベルで養うことを目標とします。</p>
------	---

キャリア教育の視点	<p>学習内容と産業や技術とのつながりが強いこともあるので，教科書や図説の内容だけではなく，書籍やインターネット等を活用して，データを収集したり，科学の原理，産業への応用などについて調べたりして，理系の進路に対応します。</p>
-----------	--

		学習計画及び内容			考 査	
1 学 期	4月	第3章	3 遺伝子の発現調節 4 バイオテクノロジー	<p>生物の生殖や発生について観察や実験などを通して，動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを学習します。</p> <p>外界の刺激を受容し，神経系を介して反応する仕組みを学び，刺激に対する反応としての動物個体の行動についても学習します。</p>	中間 考 査	
	5月	第4章	1 遺伝子と染色体 2 減数分裂 3 遺伝子の多様な組み合わせ 4 動物の配偶子形成と受精			
	6月		5 初期発生の過程 6 細胞の分化 7 植物の発生			
	7月	第5章	1 ニューロンとその興奮 2 刺激の受容 3 情報の統合 4 刺激への反応 5 動物の行動			期 末 考 査
2 学 期	8月	第6章	1 植物の反応 2 成長の調節 3 花芽形成と発芽の調節	<p>植物が周りの環境からの刺激に 応答する仕組みを学習します。 同種の個体が相互作用を及ぼし 合っていることを学習します。 また，個体群レベルから順にそ れぞれの段階で繰り広げられる生 物の様々な営みと，環境との関係 について学習します。 生命の起源と生物進化の道筋に ついて学び，生物進化がどのよう にして起こるのかを学習します。</p>	中間 考 査	
	9月	第7章	1 個体群 2 個体群内の個体間の関係 3 異種個体群間の関係			
	10月		4 生物群集 5 生態系における物質計算			
	11月		6 生態系と生物多様性			
	12月	第8章	1 生命の起源 2 生物の変遷 3 進化のしくみ			期 末 考 査
	3 学 期	1月 2月 3月	第9章 生物の学習のまとめ			

学習の方法	<p>授業で教科書の内容を理解し，その後実験を行ったり図表を活用したりすることによって，自分の目で見て確認してください。</p> <p>生物は覚える学習ではないので，問題演習によって知識の定着を図ってください。</p>
-------	---

評価の仕方	<p>定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は，実験レポート・課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。</p>
-------	--

備考	
----	--

